

見やすい! キレイ! 使いやすい!

これまでのルームミラーと比較して後方視界が格段に向上!

ミラレコで視界良好!

普及が進むドライブレコーダーにおいて、最近急拡大しているのがルームミラータイプ。ケンウッドの“ミラレコ”は見やすい、キレイ、使いやすい。選んで間違いナシのモデルだ!

構成・文/上岡 篤(本誌) 撮影/我妻慶一

大画面12型IPS液晶搭載!

純正ルームミラーにも
カンタン取り付け可能!

SPEC●モニターサイズ:
12型(11.88インチ)フルカ
ラーIPS液晶●録画画質:
FHD●視野角:(フロント)
水平143×垂直76、対角
170度(バック)水平107×
垂直55、対角132度



ケンウッド デジタルルームミラー型ドライブレコーダー “ミラレコ” DRV-EM4700

実売価格6万1000円

ケンウッド初のデジタルルームミラー型ドライブレコーダー。フロント/バックカメラともにソニー製のCMOSセンサー「STARVIS」搭載カメラの採用で、鮮明な映像を記録しつつ12型の液晶に映し出す。

見やすい!

リアウィンドウにカメラを取り付けるので、視界を邪魔されるものがない。バックカメラが映し出した映像をそのままミラーに表示できるのはありがたい。

バックカメラの映像を投影するから
荷物や車体が入らず視界良好!



↑ルームミラーで見える視界(写真左)と比較して、ミラレコで映し出せる映像(写真右)が明らかに広い。バック時にも有効と言える

キレイ!

暗所での鮮明な映像記録に定評のある、ソニー製のCMOSセンサー「STARVIS」を搭載。夜間やトンネル内でも、確認しやすい映像を記録可能だ。

ソニー製CMOSセンサー「STARVIS」搭載で
暗所もクリアな映像を記録可能!



↑写真右がDRV-EM4700の記録映像イメージ。STARVIS非搭載ドラレコよりより明るく記録できるので、車両や標識などが確認しやすい

使いやすい!

音声による操作が可能で、ステアリングから手を離すことなく操作が可能。タッチパネルによる表示エリアの調整や液晶の明るさ変更も可能なのは便利だ。

音声操作やタッチパネル式操作が可能で
安全運転を万全サポート!



↑イベント記録も音声で可能。ステアリングを握ったままでもOKだ
↑画面タッチで液晶の明るさや映す角度の調整が可能。直感的だ

カメラが映す鮮明な映像はミラーよりも断然見やすい
前後2カメラ、360度カメラなど多彩なドライブレコーダーを手がけるケンウッドが満を持して送り出すのが、ルームミラー型のドライブレコーダー、ミラレコだ。ルームミラー型の本体に搭載されたフロントカメラとクルマのリアウィンドウに取り付けたバックカメラが、撮影した映像をリアルタイムで映し出すことが可能である。特にバックカメラの映像は新鮮。積載した荷物や後席に乗車した人

で視界が遮られることなく、12型の液晶で確認できるのは安心。スライドが可能な右側仕様のフロントカメラは日本国内では、より車体中央からの視線で映像の記録が可能。海外メーカー製に多い、左ハンドル仕様とは異なる利点だ。音声による操作やタッチパネル式の操作が可能なのもいまのスマホ操作に慣れた世代にはうれしいところ。専用再生アプリはWinに加えMacにも対応する。見やすい、キレイ、使いやすい。3拍子揃ったミラレコが、ドライブでの安心を後押ししてくれる。